

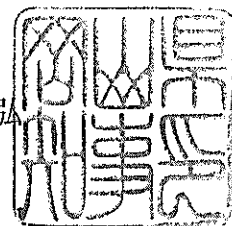


道 建 第 6 号

平成19年4月26日

国土交通省道路局長 殿

岡山県知事 石 井 正 弘



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、

別添のとおり意見を提出します。

# 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

## 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

### (1) 人と物のスムーズな移動による経済活力の向上

- ・ 岡山市や倉敷市等の市街地やその周辺地域の著しい交通渋滞が、県民生活や社会経済活動に影響を及ぼしていることから、都市部での環状道路やボトルネックとなる交差点の改良、立体化等による渋滞対策を進めるとともに、活発な経済活動を促進するため、岡山空港、水島港等の物流拠点へのアクセス道路の整備を進めること

### (2) 広域的な交流促進による豊かな地域づくり

- ・ 中四国の交通結節点としての拠点性を高めるとともに、中四国の連携を一層強化するため、高速道路網の更なる充実や高速道路 I C へのアクセス道路の整備を進めるとともに、県南と県北の連携強化や市町村合併を踏まえた地域相互の交流を促進するため、地域高規格道路をはじめとする地域間連絡道路の整備を進めること

### (3) 快適で人にやさしい魅力ある都市づくり

- ・ うるおいと安らぎを与える快適な都市空間を形成するため、緑豊かな道路環境の創出、無電柱化、ユニバーサルデザインの導入等により魅力ある都市づくりを進めること

### (4) 安全で安心できる暮らしの確保

- ・ 高齢化が進行する中、自動車に大きく依存している中山間地域の日常生活を支える道路の整備を進めること
- ・ 地域の生命線となる緊急輸送道路の安全性、信頼性を高めるため、落石対策、橋梁の耐震化等を進めること
- ・ 交通事故の削減や交通環境の改善を図るため、通学路や事故多発箇所等での交通安全対策を進めること
- ・ 今後急速に増大する老朽化した橋梁等の道路構造物に対し、適切な時期に必要な補修等を行うなど計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ること

## 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・ 広域的な交流、連携の促進や都市部の渋滞緩和を図るため、瀬戸大橋や山陽自動車道をはじめとする高速道路料金の引下げ等により、既存高速ネットワークの効率的活用を進めること
- ・ 2車線にこだわらない道路構造を採用した「おかやまスタンダード道路事業」などローカルルールにより、地域の実情に応じた効果的な道路整備を進めること

## 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 道路特定財源の見直しに当たっては、地方分権を推進する上からも、地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、地方が真に必要な道路整備をより主体的かつ着実に進められるよう、道路整備財源の安定的な確保を図るべきである。